

高知県の地震

目 次

高知県の地震活動	
震央分布図及び断面図	1
地震概況	1
高知県で震度 1 以上を観測した地震と各地の震度	2
高知県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図	2
地震一口メモ	
「津波フラッグ」は避難の合図	4

※「高知県の地震」は月 1 回発行するもので、高知県及びその周辺の地震活動状況をお知らせすると共に、適宜、社会的に関心の高い地震について解説します。また、「地震一口メモ」で地震防災知識等の普及に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査された後に修正されることがあります。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

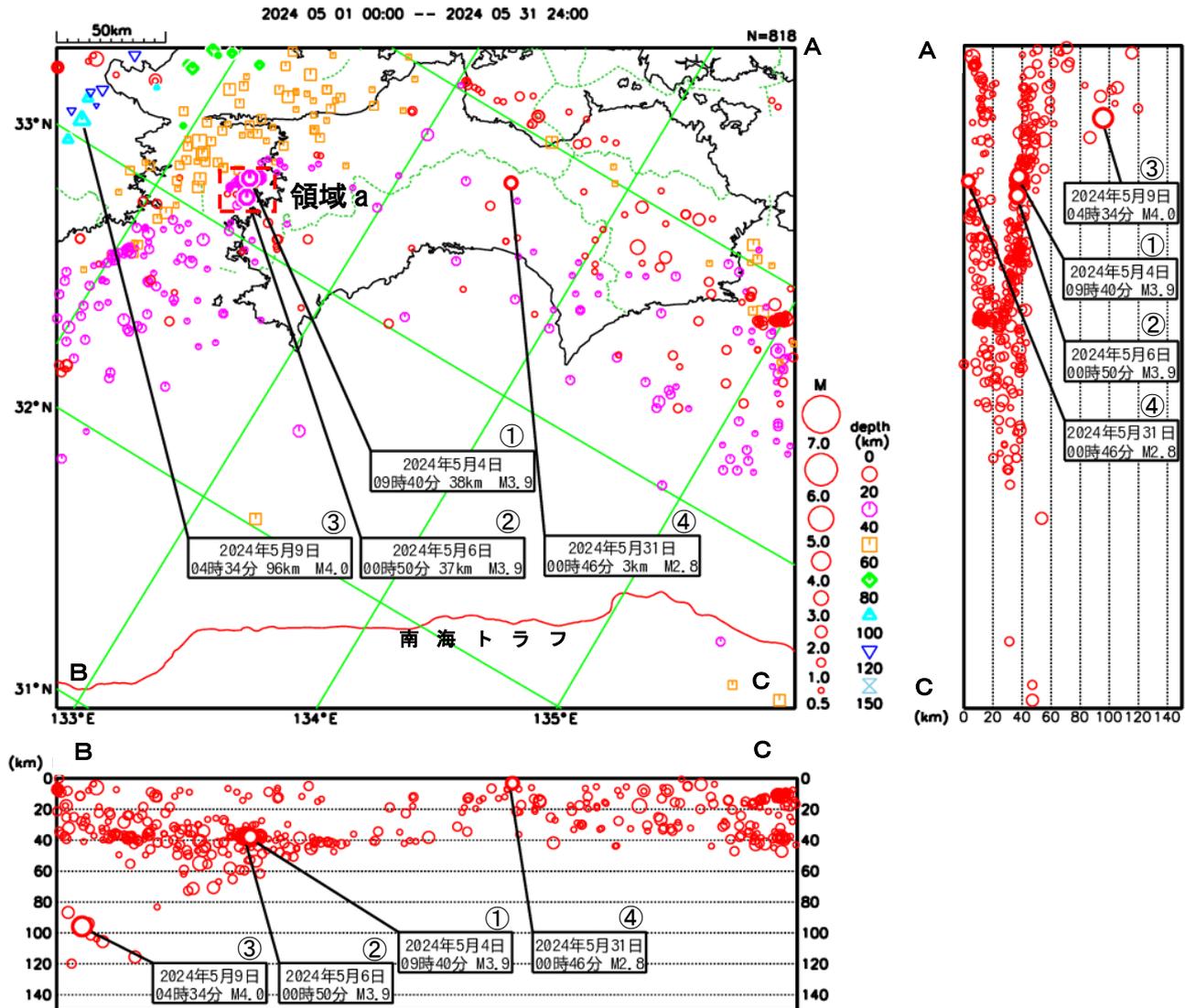
2024年(令和6年)5月

高 知 地 方 気 象 台

高知県の地震活動

「震央分布図及び断面図」

(2024年5月1日～5月31日)



震央分布図では、地震の規模を示すマグニチュード (M) はシンボルの大きさで表しています。震源の深さはシンボルの形と色を深さに応じて変えて表しています。右上の「N」は図中に表示しているシンボルの数 (地震の回数)、右の「depth」は地震の深さの凡例を示しています。

断面図 (右図及び下図) は、震央分布図範囲内の地震の北北西-南南東 (A-C) 方向断面図 (右) と西南西-東北東 (B-C) 方向断面図 (下) を表し、それぞれの地震の震源の垂直分布を表しています。

「地震概況」

2024年 (令和6年) 5月に、高知県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は13回でした (前月は59回)。そのうち11回は、2024年4月17日の豊後水道の地震 (M6.6) の震央近傍 (震央分布図の領域a) で発生しました。

4日09時40分、豊後水道の地震 (深さ38km、M3.9、震央分布図①) により、宿毛市で震度3を観測したほか、県内西部で震度2～1を観測しました。その他に、愛媛県で震度3を観測したほか、愛媛県、大分県、宮崎県で震度2～1を観測しました。

6日00時50分、豊後水道の地震 (深さ37km、M3.9、震央分布図②) により、宿毛市で震度3を観測したほか、県内西部で震度2～1を観測しました。その他に、愛媛県で震度3を観測したほか、愛媛県、山口県、大分県、宮崎県で震度2～1を観測しました。

9日04時34分、大分県南部の地震 (深さ96km、M4.0、震央分布図③) により、宿毛市・四万十町・黒潮町で震度1を観測しました。また、愛媛県、熊本県、大分県、宮崎県で震度2を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度1を観測しました。

31日00時46分、高知県中部の地震（深さ3km、M2.8、震央分布図④）により、土佐町で震度2を観測したほか、本山町・大川村で震度1を観測しました。

注) 地震概況にある数字は、「震央分布図」、「地震の表」及び「震度分布図」の番号に対応しています。

注) 2024年4月17日の豊後水道の地震（M6.6）の震央近傍（震央分布図の領域a）で発生した地震は、高知県内で震度3以上を観測した地震を掲載しています。

「高知県で震度1以上を観測した地震と各地の震度」

2024年5月

発震時刻（年月日時分） 各地の震度（高知県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
① 2024年05月04日09時40分 高知県	豊後水道	33° 13.8' N	132° 22.4' E	38km	M3.9
	震度 3：宿毛市桜町*				
	震度 2：宿毛市片島, 四万十町大正*, 黒潮町佐賀*				
	震度 1：大月町弘見*, 四万十市古津賀*, 四万十町窪川中津川, 四万十町十川*, 四万十町琴平町*, 黒潮町入野				
② 2024年05月06日00時50分 高知県	豊後水道	33° 09.3' N	132° 24.6' E	37km	M3.9
	震度 3：宿毛市桜町*				
	震度 2：宿毛市片島, 黒潮町佐賀*				
	震度 1：大月町弘見*, 四万十市古津賀*, 四万十町大正*, 黒潮町入野				
③ 2024年05月09日04時34分 高知県	大分県南部	33° 04.1' N	131° 31.2' E	96km	M4.0
	震度 1：宿毛市片島, 宿毛市桜町*, 四万十町大正*, 黒潮町佐賀*				
④ 2024年05月31日00時46分 高知県	高知県中部	33° 46.5' N	133° 29.1' E	3km	M2.8
	震度 2：土佐町土居*				
	震度 1：本山町本山*, 大川村小松*				

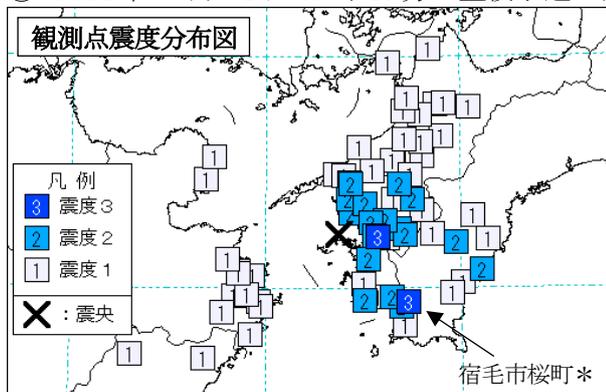
注) 観測点名の*印は、気象庁以外（高知県または国立研究開発法人防災科学技術研究所）の震度観測点です。

注) 2024年4月17日の豊後水道の地震（M6.6）の震央近傍（震央分布図の領域a）で発生した地震は、高知県内で震度3以上を観測した地震を掲載しています。

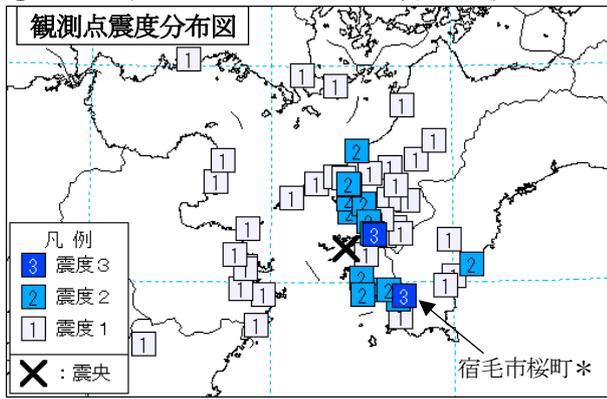
「高知県で震度1以上を観測した地震の震度分布図」

2024年5月

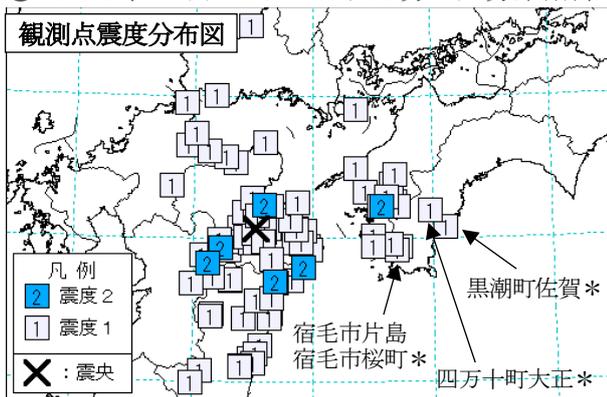
① 2024年05月04日09時40分 豊後水道 深さ38km M3.9



② 2024年05月06日00時50分 豊後水道 深さ37km M3.9



③ 2024年05月09日04時34分 大分県南部 深さ96km M4.0



④ 2024年05月31日00時46分 高知県中部 深さ3km M2.8



注) 観測点震度分布図には、県内で最も大きい震度を観測した観測点名を記載しています。
 観測点名の*印は、気象庁以外（高知県または国立研究開発法人防災科学技術研究所）の震度観測点です。

注) 2024年4月17日の豊後水道の地震（M6.6）の震央近傍（震央分布図の領域a）で発生した地震は、高知県内で震度3以上を観測した地震を掲載しています。

「地震一口メモ」

「津波フラッグ」は避難の合図

令和2年夏から、準備が整った海水浴場等では、「津波フラッグ」により大津波警報、津波警報、津波注意報（以下、「津波警報等」）が発表されたことをお知らせする取組が始まりました。

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、「津波フラッグ」は視覚に訴える伝達手段となっています。「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障害をお持ちの方や、波や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできます。

気象庁が行った調査によると、海水浴場を有すると回答した市町村のうち63%が「津波フラッグ」を導入しています（令和6年2月29日現在）。海水浴場や海岸付近で「津波フラッグ」を見かけたら、速やかに避難を開始してください。

○「津波フラッグ」とは

「津波フラッグ」は、長方形を四分割した、赤と白の格子模様のデザインです。縦横の長さや比率に決まりはありませんが、遠くからの視認性を考慮して、短辺100cm以上が推奨されます。

「津波フラッグ」は、主に船舶間の通信に用いられ、「貴船の進路に危険あり」を意味する国際信号旗である「U旗」と同様のデザインとしています。



海岸で津波フラッグを振っているイメージ

(公益財団法人日本ライフセービング協会提供)



リーフレット

(作成：公益財団法人日本ライフセービング協会・気象庁)

○「津波フラッグ」による伝達についての留意事項など

- ・伝達の実施者（ライフセイバー、監視員など）の安全が確保されていない場合、「津波フラッグ」の掲出を行わないことがあります。
- ・旗を掲げる、振る以外に、津波避難タワーや津波避難ビル等の海岸から見える建物に旗を掲げて、津波警報等の伝達を行うこともあります。
- ・津波警報等の切り替えおよび解除の際は、「津波フラッグ」による伝達は行いません。

「津波フラッグ」について（気象庁ホームページ）

https://www.data.jma.go.jp/egev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html



定期刊行物 高知県の地震（高知地方气象台）

<https://www.data.jma.go.jp/kochi/kankoubutsu.html>